

不適切保育のチェックリスト作成中

各自治体で作成することになった「不適切保育チェックリスト」。この作成のお手伝いをしています。

☆不適切保育とは

不適切保育とは、「不適切な保育の未然防止及び 発生時の対応についての手引き」で、「保育所での保育士等による子どもへの関わりについて、保育所保育指針に示す子どもの人権・人格の尊重の観点に照らし、改善を要すると判断される行為」と定義されています。また、こども家庭庁では「虐待等と疑われる事案」と定義されています。

☆チェックリストを保育士参加で作成

このチェックリスト、読んでみるとチェックするのが難しい。こんな場合はやっってしまうかも、と思う事柄がたくさん書かれています。親としても、やっってしまうのではないかと思います。

もちろん、根拠のある不適切な事項なので、リストにあることは否定しません。しかし、少ない人数で子どもを複数見ている保育士さんだったら、できるものだろうかと想像してみると、もっと保育士がいることが不適切保育を防ぐ一番の解決策なのではと思ってしまいます。

そんな中で、保育士のモチベーションを維持できる、そして不適切保育が起きないようなチェックリストを作成できれば。

☆実際には

市内にある各保育園の保育士さんたちに園内研修の一つとしてワークショップをしてもらいました。その結果に、全国保育士会と複数の自治体のリストを加え一覧表にして、主任先生のワークショップでピックアップ、まとめてもらいました。そこへ園長先生のワークショップを行い、主任先生のワークショップの抜け漏れとその理由を考えてもらいました。

最後にこれらをまとめて、学識経験者にチェックしてもらおうというプロセスで作成していきます。

保育士の方々のモチベーションを維持、向上させるようなリストができるよう、努力しています。

*主任先生、園長先生方のワークショップを拝見して、コミュニケーション能力の高さに驚きました。さすがです。見習いたいと思う話し合いました。

まとめるのも楽しく、この自治体の保育の目指すゴールに近づけるようにみなさんと協働していきたいと思っています。

